

中日ニュース

シネスコ版

原稿) No 338
シネスコ No 166 > 七編と同じ
中国 No 179

シランガ 好記録 - 日米上岡大会 **No. 503**

38. 9. - 6

200PR 七編トアとましかえ
(おばやかに阿波踊り - 徳島)

110PR

一、ON砲不調

—— 中日・巨人に三連勝

巨人が優勝を決定的にするか、中日が首位の座に迫るか、注目の巨人・中日三連戦が九月一日、二日にわたって行なわれました。

しかし天王山のこの一戦で巨人の切り札O・N砲はまったくきえず、たびたび訪れるチャンスにも凡打ばかり。巨人はついに三連敗を喫し、首位の座も揺いできました。

アイモ風土記

一、国境の島

玄海の荒海に横たわる島、対島。紛争の李ラインをはさんで韓国をのぞむ国境の島です。首都釜原は古くから朝鮮貿易の基地として栄えてきました。また大陸文化摂取の大切な中継地の要でもあったのです。

しかし、韓国に軍政が設かれた今、貿易はバツタリ途絶え、かつての姿は偲ぶすがありません。本土から遠く離れた島、これといった産業資源に恵まれないうえに、長い間、軍事上の理由で閉鎖されてきたのです。

このため島の人びとは昔から海一筋に生きてきました。「曲」は海女部落として知られています。今日も朝早く海女船が、海底のアワビ、サザエを求めて出て行きます、しかし、いずれも零細な漁業故、市場に出される海産物は微々たるもの。

これも、国境の島なるが故に、政治的には常に重要視されながらも、経済的には全く無視されてきたのです。今日見られる対島の後進性は、こうした歴史的条件によるものといえましょう。

637PR

310PR

327PR